

## 第2学年 国語科学習指導案

日 時 令和5年5月24日第5校時  
対 象 第2学年1組 19名  
授業者 主任教諭 清水 美樹  
会 場 福生市立福生第六小学校  
第2学年1組 教室

- 1 単元名 じゅんじょに気をつけて読もう  
教材名 「たんぼぼのちえ」(国語上 光村図書)

### 2 単元の目標

- 順序など情報と情報との関係について理解することができる。 【知識及び技能】(2)ア  
○時間的な順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。  
【思考力、判断力、表現力等】C(1)ア  
○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。【思考力、判断力、表現力等】C(1)ウ  
○言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合  
おうとする態度を養うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】

### 3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 順序など情報と情報との関係について理解している。 ② 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。	① 「読むこと」において文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	① 粘り強く時間的な順序などを考えて内容の大体を捉えようとしている。 ② 文章を読んで感じたことや分かったことを共有しようとしている。

### 4 指導観

#### (1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領(平成29年告示)第3章第1節 国語[第1学年及び第2学年]を受けて設定されている。

「知識及び技能」

(2) 「情報の扱い方に関する事項」

(2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
ア 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。

「思考力、判断力、表現力等」

「C読むこと」(説明的な文章の解釈に関する事項)

(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。

ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。

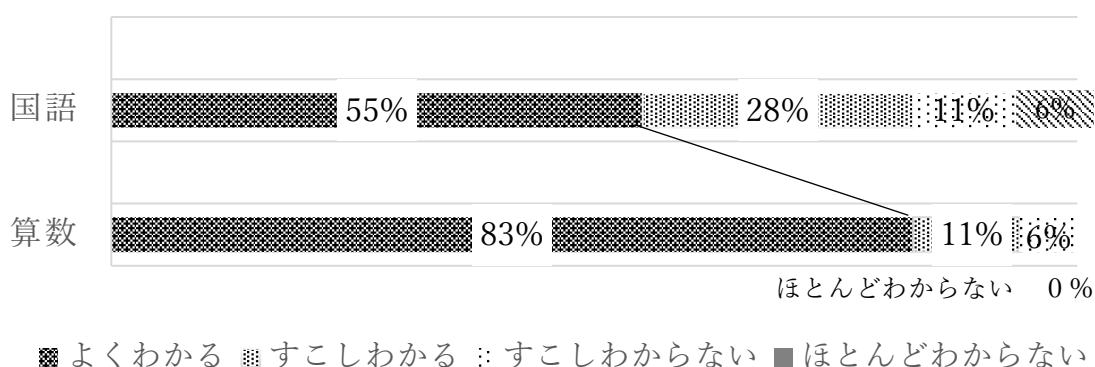
本単元は、第2学年で初めて説明的な文章を扱う単元である。この単元は、たんぽぽの変化する様子が時間的な順序に沿って説明されている。「二、三日たつと」「やがて」などといった時間を表す言葉に着目しながら、時間を追って変わっていくたんぽぽの様子を読み取る。

たんぽぽという身近な植物について取り上げた文章を読む中で、児童は、興味をもちながら、時間の経過やたんぽぽの成長過程の変化に着目したり、生体の仕組みのすばらしさを感じ取っていたりすることができる単元である。

## (2) 児童観

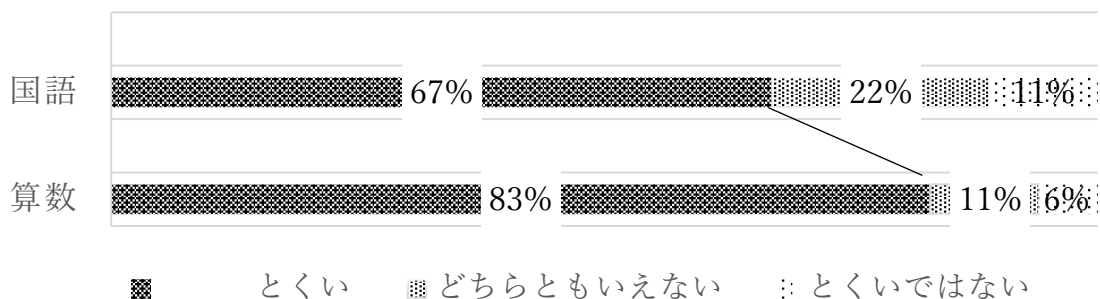
令和5年度「学習に関するアンケート(第2学年1組18名)」の結果分析(令和5年4月7日実施)

1「国語の学しゅうはよくわかりますか。」、2「算数の学しゅうはよくわかりますか。」の調査項目



上記のグラフは項目1「国語の学しゅうはよくわかりますか」と、項目2「算数の学しゅうはよくわかりますか」の結果を比較したものである。算数の学習について「よくわかる」と回答した児童が83%であるのに対し、国語の学習について「よくわかる」と回答した児童は55%に留まっており、大きく差が開いていることが分かる。

4「国語は、どのくらいとくいですか。」、5「算数は、どのくらいとくいですか。」の調査項目



上記のグラフは項目4「国語は、どのくらいとくいですか。」と、項目5「算数は、どのくらいとくいですか。」の結果を比較したものである。算数を得意と感じる児童が83%であるのに対し、国語においては67%に留まっている。

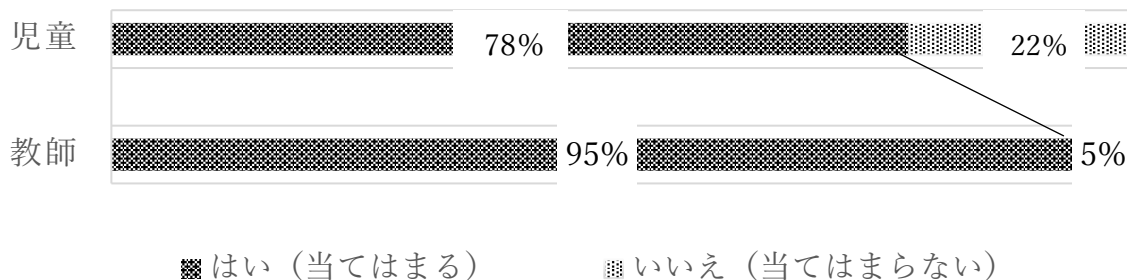
これらの結果から、比較的多様な意見を引き出しやすい国語と比べ、算数の場合は結果として正解が1つであるため、国語に関しての児童が「よく分かる」「できる」と実感できる機会に乏しいことが考えられる。国語の授業においても、児童が「分かった」「できた」という達成感を感じることができるような取組を行っていく必要がある。

また、下記のアンケート結果から、授業中に自身の考えを誰かに伝える場面を教師側が意図的に確保しているにも関わらず、児童の実感としては考えを説明する時間があると感じている割合が78%に留まっている。そこで、児童が説明する場面では、説明することのよさを価値付けていきたい。さらに「説明する」という行為を強調した言葉掛けを行うことで、児童に実感させていく。

考えたことを説明することで、児童の学習に対する理解も高まり、学習が「よく分かる」ことに繋げていきたいと考えている。

#### 17 学校の授業について

じゅぎょうでは、自分で分かったことや考えたことを友だちや先生に説明する時間があると思う。



このような課題を改善するために、本授業では学習計画振り返りカードの活用、活発な意見交流といった手だてに取り組む。学習計画振り返りカードは、児童に毎時のめあてを確実に捉えさせ、学習の積み重ねの実感をもたせることをねらいとしている。また意見交流では、自身と同じ考え、異なる考えのどちらにも触れさせることで、自身の考えに確信をもたせるとともに、様々な考え方・感じ方への理解を深めることをねらいとしている。

#### (1) 教材観

本教材は、たんぽぽの花が咲いてから綿毛が飛んでいくまでの過程を、新しい仲間を増やすための「ちえ」として時間的な順序に従って分かりやすく説明している説明文である。児童にとって身近な存在であるたんぽぽを取り上げ、生物が生きていくための営みと種の保存のための本能について児童に未知の事象を説明している本教材は、この時期の児童に適した教材である。また「二、三日たつ」「やがて」などの順序を表す言葉に即して、たんぽぽの成長の様子が書かれており、時間的な順序を捉えるのに適している。さらに、「それは～だからです。」という、理由を説明する文末表現も使われており、事象と理由を明確に区別し、それらに関係付けて読み取ることを学ぶのにも適した教材と言える。

## 5 研究主題との関連

### (1) 研究主題

学びに向かう力を育むための指導の在り方を考える  
～「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の分析を通して～

### (2) 研究主題を受けた目指す児童像

○自らの学習を調整しながら、粘り強く、課題に取り組むことができる子

#### 【学びに向かう力が育成された児童の姿】

ア 課題に対して試行錯誤しながら諦めずに取り組むことができる。

イ 課題に取り組む際に、自分である程度の見通しをもって取り組むことができる。

### (3) 目指す児童像に迫るための研究仮説

「児童・生徒の学習に関するアンケート」から、児童の実態を把握し、実態に適した学習内容を工夫することで、児童が主体的に学習に取り組むようになるであろう。

### (4) 目指す児童像に迫るための具体的な手だてと、ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度

#### 【ESDの視点 未来像を予測して計画を立てる力】

- ・学習計画表を常に掲示する。
- ・学習計画振り返りカードに、授業のまとめで必ずめあてに沿った振り返りを書かせる。教師がコメントを書き、次時の導入で振り返りの内容を紹介する。

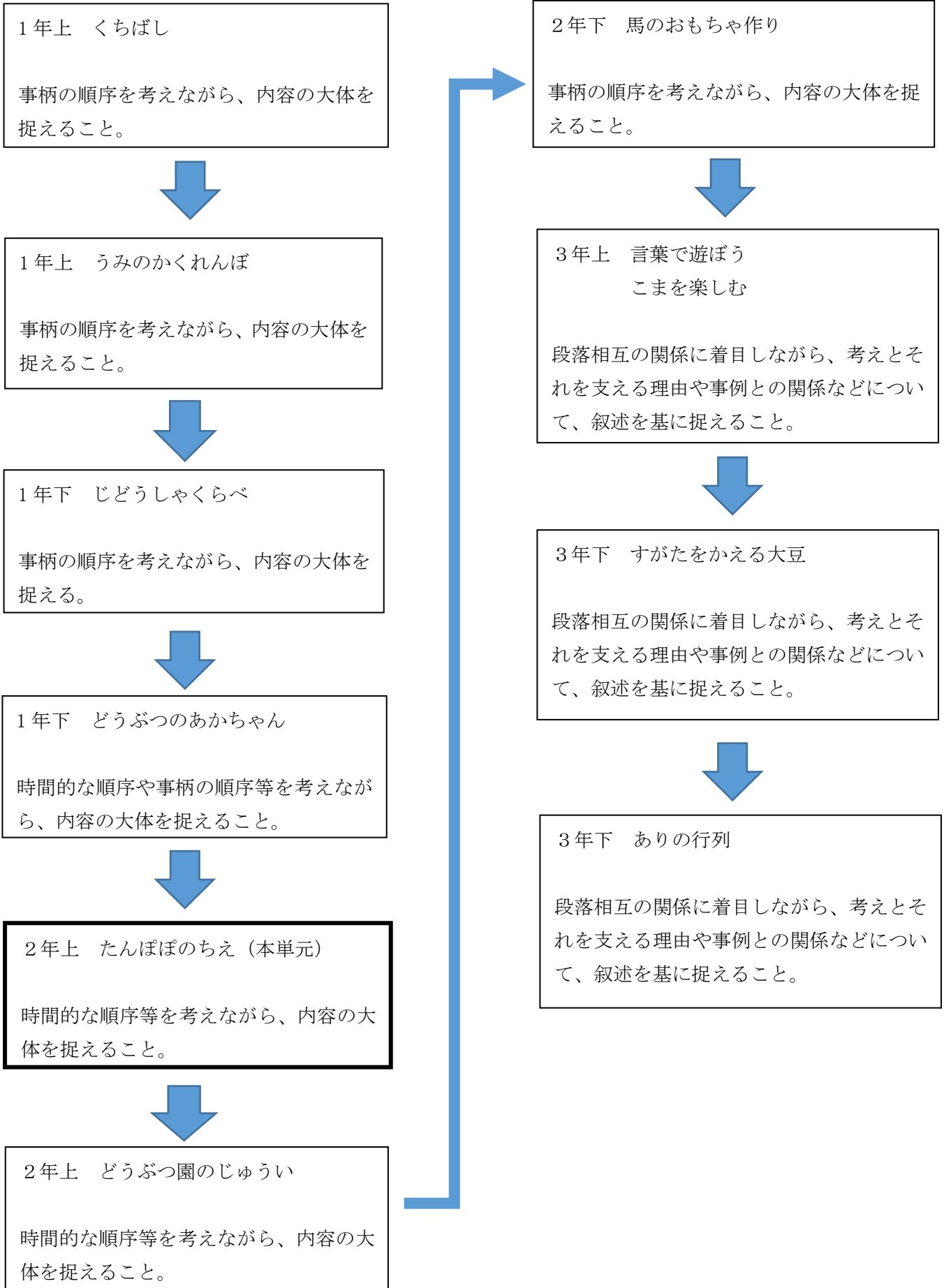
#### 【ESDの視点 コミュニケーションを行う力】

- ・自分と異なる意見をもつ友達とも積極的に交流できるよう、友達のところ自由に移動しながら交流させる。
- ・書く活動では、「個→ペア」、「ペア→個」での話し合い活動の時間を必ず設けることで、書く内容に自信をもてるようにする。

#### 【ESDの視点 進んで参加する態度】

- ・家庭学習で音読を行うよう指導する。家で練習したいと意欲的になれるよう、授業内での音読指導に力を入れる。様々な音読方法を取り入れる。
- ・時を表す言葉に着目させるために、クイズを取り入れる。楽しい活動の中で時を表す順序を捉えられるようにする。

6 年間指導計画における位置付け



7 単元計画と評価計画（全 10 時間）

次	時	目標	主な学習活動	評価規準（評価方法）		
				ア	イ	ウ
一	1	既習事項を確認することができる。 「説明文」「題名」「筆者」 「問いの文」「例」	○1年生教材を用いて説明文の既習事項を復習する。	① (発言)		② (振り返りカード)
	2	文章全体を読み、たんぼぼの知恵について感想をもつことができる。	○範読を聞き、感想を交流する。			② (振り返りカード)
二	3	様々な方法で音読練習をすることができる。	○音読練習をする。	② (発言)		② (振り返りカード)
	4	たんぼぼの知恵がいくつ出てきたかを、自分なりに理由をつけて答えることができる。	○たんぼぼのちえがいくつ出てきたか話し合う。		① (発言) (記述)	② (振り返りカード)
	5	たんぼぼの知恵がいくつ出てきたかを、自分なりに理由をつけて答えることができる。	○たんぼぼのちえがいくつ出てきたか話し合う。		① (発言) (記述)	② (振り返りカード)
	6	挿絵と文を並び替える活動を通して、時を表す言葉や、たんぼぼの様子が変わっていく順序に着目して読むことができる。	○挿絵と時を表す言葉に気を付けながら、いつどんな知恵を働かせているかまとめる。	① (記述)	① (発言) (記述)	② (振り返りカード)
	7	たんぼぼの知恵とその理由を捉えることができる。	○たんぼぼのちえとそのわけについてまとめる。		① (発言)	① (発言) ② (振り返りカード)
	8	順序を表す言葉をもとに、順序の関係を捉えることができる。	○書かれている順序について、第1時に用いた1年生教材と比べながら考え、話し合う。	① (発言)		① (発言) ② (振り返りカード)
三	9	たんぼぼの知恵で一番驚いたことを書き抜くことができる。	○一番驚いた知恵について理由とともにノートに書く。		① (発言)	① (発言) ② (振り返りカード)

三	10 (本時)	たんぼぼの知恵で一番驚いたことについて、理由とともに思ったことを交流することができる。	○前時に書き抜いた一番驚いた知恵について理由とともに交流する。			① (発言)  ② (振り返りカード)
---	------------	---	---------------------------------	--	--	---------------------------------

## 8 本時（全 10 時間中の第 10 時）

### (1) 本時の目標

たんぼぼの知恵で一番驚いたことについて、理由とともに思ったことを交流することができる。

### (2) 本時の展開

時間	○学習活動 ・ 予想される児童の考え	◇指導上の留意点 ◆配慮事項	評価規準 (評価方法)
導入 (3分)	○前時までの学習内容を振り返り、本時のめあてを確認する。	◇学習計画表を使って、第1時からの学習内容を振り返らせる。  たんぼぼのちえで1ばんすごいとおもうものをりゆうとともにこうりゅうしよう。  ◇前時に書いた「たんぼぼのちえの1ばんすごいと思ったところ」の書き抜きをノートで確認させる。  ◇本時の見通しをもたせる。	
展開 (37分)	○音読（スラスラサバイバル）をする。  ○選んだ知恵について、考えたことや思ったことを書く。 ・種を遠くに飛ばす知恵です。なぜなら、普通は枯れて倒れることはあるけれど、そのあとにもう一度起き上がらないからです。 ・種を飛ばす知恵です。ほかの植物は種を飛ばさないからです。	○音読のポイント「ハキハキ・スラスラ・正しく」を意識させる。  ◇本文に対して、自分の知識や経験と結び付けて考えられるように言葉掛けを行う。  ◆書くのが難しい児童には、段落ごとに音読（一人読み）をさせるなどの個別指導をする。	

	<p>○書いたものを友達と読み合う。</p>	<p>◇友達のところ自由に移動して交流してもよいことを伝える。</p> <p>◇自分が選んだ知恵と同じ知恵・異なる知恵を満遍なく交流することを伝える。</p> <p>◇4つの知恵ごとに色付きの付箋を用意し、それぞれがどの知恵を選んだのか色で判別できるようにさせる。それぞれの知恵を選んだ理由を、積極的に交流できるようにする。</p> <div data-bbox="839 882 1331 1133" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種を太らせる知恵（黄）</li> <li>・種を飛ばす知恵（ピンク）</li> <li>・種を遠くに飛ばす知恵（黄緑）</li> <li>・天候によって綿毛の開き方を変える知恵（水色）</li> </ul> </div> <p>◇自分と同じだと思ったところ、違うと思ったところを伝え合うようにさせる。</p>	<p>ウー② 文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 (発言)</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>○単元の学習をまとめる。</p>	<p>◇学習計画振り返りカードに振り返りを書き、発表させる。</p>	<p>ウー② 文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。(振り返りカード)</p>



### (3) 板書計画

<table border="1"><tr><td data-bbox="296 264 336 297">水</td><td data-bbox="344 264 384 376">きみどり</td><td data-bbox="392 264 432 353">ピンク</td><td data-bbox="440 264 480 297">黄</td></tr><tr><td></td><td>たねをとおくに 天気によってわた毛のひら きかたをかえるちえ</td><td>たねをとばすちえ</td><td>たねをふとらせるちえ</td></tr></table>	水	きみどり	ピンク	黄		たねをとおくに 天気によってわた毛のひら きかたをかえるちえ	たねをとばすちえ	たねをふとらせるちえ	<p>音読のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ハキハキ</li><li>・スラスラ</li><li>・正しく</li></ul> <p>スラスラサバイバル</p>	<p>学習計画表</p>
水	きみどり	ピンク	黄							
	たねをとおくに 天気によってわた毛のひら きかたをかえるちえ	たねをとばすちえ	たねをふとらせるちえ							

### (4) 授業観察の視点

- ・学習計画表と学習計画振り返りカードは、自分である程度の見通しをもって取り組むことに対して有効な手だてであったか。
- ・友達のところ自由に移動しながらの交流は、伝える相手を固定せず流動的にすることで、主体的に学習に取り組む態度を育成することにつながっているか。
- ・様々な方法で音読することは、家庭学習における音読に意欲を見いだす手だてとなっているか。